

笑顔が広がる
ふれあいと助け合い。

対応するSDGs目標



地域の人々と手を取り合い、医のスペシャリストと手を携えて
これからの社会と一人ひとりにとって大切なテーマに取り組む。
元気な笑顔の輪が大きく広がっていくように。

道内教育機関との連携

道民の皆さまがより健康に元気に暮らせる心身づくり、地域医療への貢献、産学が手を組み互いに発展することを目的として、道内4つの教育機関と包括連携協定を締結しています。市民向け講座やセミナーのほか、医療機関を対象とした「医療経営セミナー」を開催し、医療機関の経営面へのサポートにも取り組んでいます。



道民医療講座
(札幌医科大学との連携事業)

各教育機関との事業内容

大学名	事業内容
北海道大学	「医療健康講座」5回開催(2016年度)
札幌医科大学	「道民医療講座」(2018年度)
旭川医科大学	地域医療活性化の取り組みを紹介するラジオ番組放送(2011年4月~10月)
北海道医療大学	「市民医療セミナー」2回開催(2018年度)

担当者からの一言 調査役 菊池 侑平



北海道は全国を上回るスピードで人口減少と高齢化が進んでおり、地域の経済や暮らしなど様々な分野への影響が懸念されています。当行では地域の持続的な発展において、医療福祉の充実が必要不可欠と考え、重点分野として積極的に取り組んでいます。高齢化社会の到来や社会保障制度の改革を背景に、お客さまのニーズは設備投資への円滑な資金供給、経営戦略の策定や組織再編に対するコンサルティングなど多様化しており、最適なソリューションを提供していきます。

専門知識を有する医療担当者の配置

医療機関や福祉・介護事業の皆さまに情報提供や開業支援等のサポートをきめ細かく行うため、「医療・介護チーム」をソリューション部内に設置しているほか、営業店には17名の医療担当者を配置しています。専門知識を有する医療担当者を本部・営業店に配置することにより、お客さまの多様化するニーズにお応えできるよう努めています。

ローン商品を通じて安心して治療に専念いただくことをサポート

先進医療ローン

悪性腫瘍に対する陽子線治療等、高額な治療費が必要となる先進医療を受けられる患者さまやそのご親族の方を対象にした商品です。医療費も対象にした通常のローンよりお借入条件を有利に設定し、元金のお支払いも6ヶ月間据置できるため、経済面での不安を緩和し、治療に専念いただけます。(2015年1月取扱開始)

住宅ローン「11疾病団信 (生活習慣病団信入院プラスα)」

住宅ローン団信のラインナップに「11疾病団信」を追加しました。通常の団信の保障(死亡・高度障害)、余命6ヶ月以内と判断されたときの保障に加え、がんと診断確定された場合や10種類の生活習慣病で入院が180日以上継続した場合に住宅ローン残高が0円になるだけでなく、がんに関する充実した給付金と短期・中長期の入院にも幅広く対応しています。(2018年5月取扱開始)

万が一のときも安心な教育ローン

ローンのご返済中に、生まれて初めて「がん」と医師により診断された場合、保険金が返済に充当される「がん診断保険金特約」をセットした教育ローンをご提供しております。もしも「がん」と診断されたら教育ローンの残高が0円となりご返済負担がなくなるため、教育をあきらめることなく治療に専念いただくことができます。お子さまの夢を応援できる安心感を教育ローンにセットしました。(2016年1月取扱開始)

地域医療活動への支援

がん検診向上への支援

北海道とがん対策推進に関する連携協定を結び、がんの正しい知識を普及させる啓発活動や、がん検診の受診を促進する取り組みに協力しています。ポスター・リーフレット等の店舗設置や店頭でのパネル展実施、啓発イベントへの協賛・宣伝、PR品提供等を行っています。

企業団体献血への協力

職員参加型のCSR活動として、企業団体献血への協力を推進しています。2018年度は、道内各地区で日本赤十字社より献血バスを手配いただき、延べ359名の役職員が参加しました。輸血を必要としている尊い命を救うために、持続的に取り組むことのできるボランティア活動として、今後も定期的に取り組んでいきます。



献血バス



北洋大通センターでの団体献血

移植医療への協力

移植医療についての啓蒙活動のひとつとして、公益財団法人北海道移植医療推進財団のご協力のもと、全店に「臓器提供意思表示カード」を設置しています。人の命に直結する移植医療は重要な課題です。多くの方が臓器移植の必要性を認識し、理解を深めることが推進への近道だと考えています。



臓器提供意思表示カードを店舗に設置

古本回収による募金活動

古本等の回収による募金活動を全役職員で行い、日本赤十字社が道内で行う救急法講習会で使用する「訓練用AED(自動体外式除細動器)パッド」等の資材購入を支援しました。2018年度は全営業店から487点の古本などが持ち寄られ、多くの役職員がこの活動に参加しました。

骨髄バンク活動への支援

「北海道骨髄バンク推進協会」は、尊い命を救うためにドナー登録者の拡大と、骨髄移植の推進と活動を行っています。当行は、1990年の協会設立以来、事務局の運営および啓発活動への協力のほか、経済的支援等様々な支援をしています。また、骨髄ドナー休暇を設けて職員の貢献活動も推奨しています。



地域イベントに参加した職員が「骨髄バンク」タスキを着用し活動をPR

様々な調達方法の提供による資金支援

● 診療報酬債権流動化

医療機関がもつ診療報酬債権の買い取りを行うことで、一般の融資とは異なる手法で医療機関の資金支援をお手伝いしています。従来型の融資に躊躇していた医療法人にもご利用いただける方法で、多くの医療機関にご利用いただいています。

契約法人数 **18先**

うち、
地域医療機関
契約数 **14先**

※札幌市内の医療機関を除く
(2019年3月時点)

● 医療福祉債

法的に債券を発行できない医療機関等に対して、債券発行のメリットを提供し、かつ医療機関の健全運営をPRできる商品として「北洋医療福祉債」をお取り扱いしています。2019年3月末時点で70先(累計)の医療法人・社会福祉法人の皆さまにご利用いただいています。

ご高齢のお客さま・障がいのあるお客さまへの対応

ご高齢のお客さまや障がいのあるお客さまが利用しやすい銀行を目指して、サービス体制の充実のための様々な取り組みを行っています。

点字通知サービスの開始

視覚障がいをお持ちのお客さまに配慮した取り組みとして、「預金残高」「取引明細」のご案内を点字で作成し、郵送にて無料で通知するサービスを2018年7月より開始しました。

「サービス・ケア・アテンダント」「サービス・ケア・キャスト」認定者の全店配置

全てのお客さまに配慮した適切なコミュニケーション手法や対応力を養い、サービス品質の向上を目的とする資格である「サービス・ケア・アテンダント」認定者および「サービス・ケア・キャスト」認定者を2018年11月より全店に配置しています。

資格認定者	251名
サービス・ケア・アテンダント	226名
サービス・ケア・キャスト	25名

(2019年7月時点)



サービス・ケア・アテンダント研修



お客さまに優しい店舗づくり



当行をご利用されるお客さまにとって安心・便利な店舗づくりに取り組んでいます。

「杖かけホルダー」の設置

「ATM タッチペン」の設置

「文字拡大機能付 ATM」の設置

車いす配備店舗の拡大

声が大きく聞こえる機能がある
「助聴器」の全店配備

店舗建て替え時の
バリアフリー設計 など

視覚障がいのあるお客さま

窓口受付振込手数料を
ATM利用振込手数料と同額へ引き下げ

音声案内対応ATMを全店に1台以上設置

点字通知サービスによる
預金残高・取引明細の通知



ATMユニバーサルデザイン画面



音声案内対応ATM

耳の不自由なお客さま

「耳マーク」、「コミュニケーションボード」、
「筆談ボード」を全店に設置



入出金・口座開設・名義変更等
希望する手続きを指し示す「コミュニケーションボード」



助聴器